

政 務 活 動 費 収 支 報 告 書

令和7年 3 月 31 日

富士宮市議会議長 様

会 派 名 称 超党派虹の会

代表者氏名 近藤 千鶴

令和 6 年度の政務活動費に係る収入及び支出について、下記のとおり報告します。

記



1 収 入
政務活動費 432,400 円

2 支 出

項 目	金 額 (円)	主たる支出の内訳
資 料 作 成 費	0	
資 料 購 入 費	72,008	図書購入
会 議 費	106,536	セミナーや勉強会への参加
事 務 費	0	
調 査 旅 費	0	
そ の 他 経 費	0	
合 計	178,544	

3 残 額 253,856 円

令和 6 年度 政務活動費現金出納簿

(単位:円)

月	日	項 目	内 容	収入金額	支払金額	残 高
8	29		政務活動費	432,400		432,400
8	28	会議費	清溪セミナー参加費		29,220	403,180
10	11	資料購入費	図書購入費		3,098	400,082
10	15	会議費	清溪セミナー参加のための旅費		31,940	368,142
10	29	資料購入費	図書購入		1,760	366,382
11	21	会議費	日本高齢者大会に参加のための旅費		37,000	329,382
11	22	会議費	日本高齢者大会の参加費		5,000	324,382
11	22	会議費	勉強会会場使用料		68	324,314
12	10	会議費	勉強会プロジェクター使用料		136	324,178
12	10	会議費	勉強会講師交通費		1,422	322,756
12	10	会議費	勉強会講師謝礼		1,750	321,006
12	18	資料購入費	図書購入		4,070	316,936
3	10	資料購入費	図書購入		990	315,946
3	10	資料購入費	図書購入		990	314,956
3	10	資料購入費	図書購入		1,100	313,856
3	24	資料購入費	図書購入		60,000	253,856
						253,856
						253,856
			合 計	432,400	178,544	253,856

収入金額

432,400 円

支出金額

178,544 円

差引残額

253,856 円

令和6年度 超党派虹の会 年間計画

1、先進地視察

- ① 福祉一般（子育て支援・高齢者福祉・障がい者福祉）
- ② 環境（ごみ減量・省エネ支援事業等）
- ③ 防災・減災
- ④ 教育（先進地自治体・教育振興事業）

2、研修会

- ① 議員研修・セミナーへの参加
- ② 各種学会主催の講演会への参加
- ③ その他

3、資料等購入

- ① 議員活動関連書籍等の購入
- ② 自治体情報 月刊誌の購入
- ③ 市内地図等の購入

4、事務用品購入

- ① 筆記用具等・文房具全般
- ② その他

超党派虹の会 代表者 近藤 千鶴

会 計 渡辺 佳正

第 5 号様式（第 4 条関係）

政 務 活 動 費 交 付 決 定 通 知 書

富行第 1 4 1 の 2 号の 2

令 和 6 年 8 月 2 9 日

超党派虹の会

代表者 近藤 千鶴 様

富士宮市長 須 藤 秀 忠

令和 6 年 8 月 2 9 日付けで申請のあった政務活動費の交付について、
下記のとおり決定したので通知します。

記

令和 6 年度交付決定額 4 3 万 2 , 4 0 0 円

NO.

収 入 伝 票

項 目	政務活動費
金 額	4 3 2 , 4 0 0 円
内 容	政務活動費
収 入 先	富士宮市長
収 入 年 月 日	2 0 2 4 年 8 月 2 9 日
摘 要	

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	3,098 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	Dスタイル
支払年月日	令和6 年 10 月 11 日
その他特記事項(参加者・人数等) 私たちは売りたいくない！”危ないワクチン”販売を命じられた 製薬会社現役社員の慟哭 1冊 3,098円	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

注文番号 の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2025年3月24日
注文日: 2024年9月25日
Amazon.co.jp 注文番号:
ご請求額: ¥ 3,098

超党派虹の会 様

2024年10月11日に発送済み

注文商品
1点 私たちは売りたいくない! "危ないワクチン"販売を命じられた製薬会社現役社員の懺哭, チームK
販売: Dスタイル (出品者のプロフィール)

価格
¥ 3,098

コンディション: 中古品 - ほぼ新品
希少な商品のため、価格が高騰している可能性があります。

お届け先住所:
近藤千鶴
静岡県 富士宮市

配送方法:
通常配送

支払い情報

支払い方法:
請求先住所:
近藤千鶴
静岡県 富士宮市

商品の小計:	¥ 3,098
配送料・手数料:	¥ 0
注文合計:	¥ 3,098
ご請求額:	¥ 3,098

: 2024年10月11日: ¥ 3,098

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

トップへ戻る

日本語

日本

ヘルプ・サポート

利用規約 | プライバシー規約 | パーソナライズド広告規約 | 各種規約 | 特定商取引法に基づく表示
© 1996-2025, Amazon.com, Inc. またはその関連会社

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	2024 年 8 月 29 日		決 裁	2024 年 8 月 29 日	
所 属		氏 名		備 考	
1	超党派虹の会		近藤 千鶴		
2					
3					
4					
5					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
東京都新宿区		東京都新宿区霞ヶ丘町4-1 日本青年館ホテル8F カンファレンスルーム		第29回 清溪セミナー 住民主 体の地方自治を進めるために	
研 修 目 的					
「環境」をテーマに自分の自治体は脱炭素社会の実現のためにどう行動するかを研 修会で研究するため					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
東京都新宿区		2024 年 10 月 22 日		2024 年 10 月 23 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会 議 費
金 額	29,220 円
内 容	第 29 回清溪セミナー 参加費
目 的	環境に関する幅広い取り組みを学び、富士宮市はどう行動するかを研究するため。
支 出 先	清溪セミナー実行委員会
支払年月日	令和 6 年 8 月 28 日
その他特記事項（参加者・人数等） 近藤千鶴 1 人 参 加 費 29,000 円 <u>振込手数料 220 円</u> 合 計 29,220 円	

— 領収書等貼付欄 —

ご利用明細票

お取扱日	店 番	お取引内容
06-08-28		
記 号	番 号	

取扱番号	お取引金額	
	*29,000	
	残高	

ご利用いただきましてありがとうございました。

— ゆ う ち ょ 銀 行 —

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	31,940 円
内 容	環境をテーマの第29回清溪セミナー 参加のための旅費
目 的	環境をテーマとしたセミナーに参加し、富士宮市の脱炭素社会の実現のためにどのように行動したらよいか研究するため
支 出 先	近藤 千鶴
支払年月日	令和6 年 10 月 15 日
その他特記事項(参加者・人数等) 近藤千鶴	

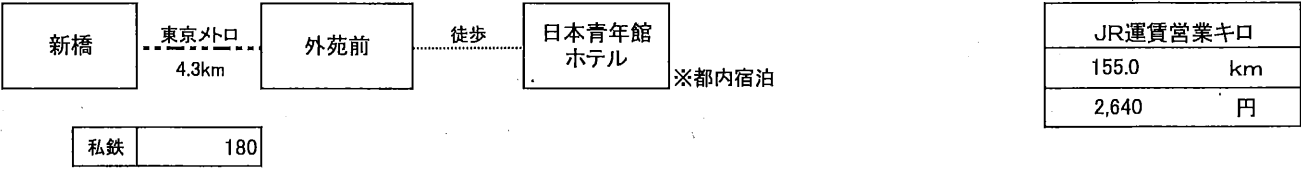
— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

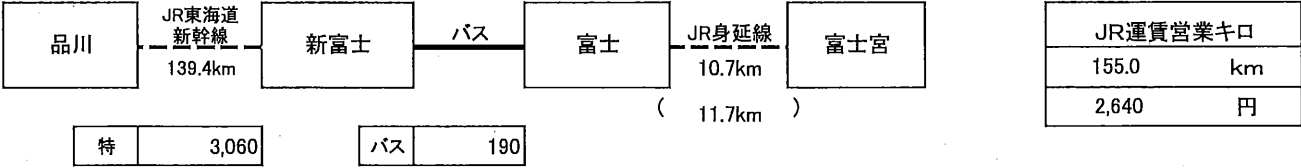
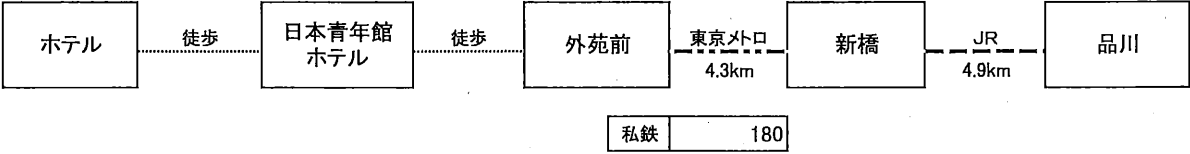
旅費計算書(政務活動費)

超党派虹の会
(近藤議員)

● 1 日 目：令和6年10月22日(火)
【研修】清溪セミナー(東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)



● 1 日 目：令和6年10月23日(水)
【研修】清溪セミナー(東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)



鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	12,140 円	×	1 人	=	12,140 円
	私 鉄	360 円						
特 急 料 金	通 常	6,120 円	日 当					
	閑 散	円						
	繁 忙	円						
航空運賃	料 金	円	宿泊料					
船 賃		円		16,500 円 ×	1	夜 ×	1 人 =	16,500 円
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計					
1人往復運賃合計 A		12,140 円		31,940 円/人	×	1 人 =	31,940 円	

研修報告書

会 派 名 超党派虹の会	
研 修 年 月 日	令和 6 年 10 月 22 (火) 23 日 (水)
研 修 名	第 29 回清溪セミナー
参 加 者	近藤 千鶴
研修内容 (概要、特色、効果、課題等)	講義 I 「進化する里山資本主義」 講師：藻谷 浩介氏（地域エコノミスト） 先生の講義はまず、「常識は疑う」から入っていきます。 先生は平成の大合併前の 3200 市町村すべて、海外 114 か所を自費で訪問し、地域特性を多面的に把握してきました。 市町の最新の統計数字や地域特性を踏まえたうえで分析し、その都市の抱える問題点を事例としてあげ、活性化のまちづくりの在り方を提言しました。 常識を疑い、慣用句は用いず、先入観は排し、反証のある社会通念や各種主義主張には従わない内容の講義には私自身も目からうろこでした。 里山資本主義の表題からかけ離れているような数字、例えば東京に 16 万機のエレベーターがある事や、日本の幸福度、青少年の自殺率、エネルギー自給率や、食料自給率などをあげて、質問形式で参加者に答えさせ、いかに自身が固定概念で考えていたかが実感できました。 また興味深い数字として住民一人当たりの生活保護費とか仕事の無い人が多いのはどこか。 また、驚いたことは日本の経常収支赤字の相手はなんとアメリカでした。日本はアメリカからも中国からもイギリス・ドイツからも儲け続けていることがわかりました。 国内生産額が大きい農産物はコメではなく野菜と肉でした。 売上の産出額の伸び率はなんと林業でした。 そんな数字をみると、里山に可能性があるのを実感しました。 これまで見過ごされてきた身近に眠る地域の資源を活用することにより、地域を豊かにするとともに豊かに暮らそうというのが里山資本主義です。 里山には現在のマネー経済だけでなく、日本社会が抱える地域の過疎化、少子化と急激な高齢化という問題を克服する可能性も秘めている。 お金が乏しくなっても水と食料と燃料が手に入り続ける仕組み、い

わば安心安全のネットワークを、あらかじめ用意しておくことの実践取組が必要で、地域内を循環するのが「さとやま」であり、それが未来をつくるサブシステムであると言われました。

最後に「普通に真面目で根気のある人が、手を抜きながら生きていける社会が里山にはある。里山の暮らし方は世界に通じる」と力説された。

講義Ⅱ オーガニック給食の実践

講師 いすみ市農林課有機農業推進班班長 鮫田 晋氏

いすみ市のオーガニック給食は有名です。令和4年からは給食費も無償化です。

いすみ市は人口35,000人の町で都心から70キロ圏内にあるが、開発の影響から逃れたことで、希少植物も多く、自然の恵み豊かな里山・里海地帯です。

近年は、世代を問わず移住者に人気があります。

いすみ市における有機農業推進の経緯ですが、2012年には有機農業者はゼロ。

2015年には有機米4トンを学校給食に導入

2017年学校給食の全量に当たる42トンの有機米を提供

2018年には学校給食に向けた有機野菜の生産と産地化の取り組みを開始し今に至ります。

わずか5年でこの有機米までこぎつけたことになります。

有機米にしたことで

- 学校給食における残食の減少
- イメージアップと認知度向上
- 移住者の増加
- 農産物のブランド化
- 新規就農希望者の増加等があげられます。

2023年度版の「住みたい田舎」ベストランキングで高い評価を受けている。

全国でも全国オーガニック給食協議会が設立されました。

日本の学校で有機食品を利用している市町村数は令和2年度は123自治体でしたが令和4年度は193自治体に増えました。

世界に目を向けるとイタリアやフランス・韓国など法律に有機米の比率目標をあげている国もあり、デンマークやスウェーデンなどは有機産品シェアの目標値を定めており、多くの国で実施されている。

いすみ市の取り組みとして慣行農業のお米の価格は5キロ1800円有機の場合は3500円以上ですので、その価格差をいすみ市が負担。給食費をあげるとなると一人当たり172円で意外と安いのですがそれを家庭に負担させるわけにいかないということで自治体支援となりました。

いすみの有機米の啓発や普及においてセミナーやシンポジウムや国際会議など幅が広がっていきました。

有機米の流通についてもわかりやすい絵柄で説明を受けました。

いすみ市の有機稲作関連支援策として 経営リスクの回避や機械の無償の貸し出しや技術サポートなどをしていました。

有機給食の狙いは農家の生きがいと正業の創出が求められる。

少ない生産量でも農家が無理なく参加でき、生産意欲の高い農家に安定した所得を還元できる仕組みにすること。

●学校給食への地場産有機野菜を導入

✓ 無理なく使用できる品目から優先

✓ いすみ産有機野菜の流れ

農林課職員が「コーディネーター」の役割を担っている
有機野菜部会 市内生産者のネットワーク（事務局がいすみ市農林課）

✓ 品目選び～作付け、納入まで、定例会で協議

「いすみそだち」いすみ独自の認証制度です。有機 JAS 登録認証機関の協力により認証審査を行っている

●いすみ教育ファーム 田んぼと里山と生物多様性

「農業環境」「食」を一体的に扱う教育プログラムを開発
一年間で 30 時限（15 テーマ×2 時間）を扱う

田植え体験・生き物調査・稲刈り体験・伝統的な農業体験
農業機械の進化を学び・羽釜炊飯・おにぎりづくりなど

子ども達が成長し、やがて築く未来の食卓と未来の食卓に支えられる農業に、期待していると市職員の言葉が印象的でした。

講義Ⅲ ゼロカーボンシティを目指して

講師 岡山県真庭市長 太田昇氏

この講義は私が司会を担当させて頂きました。

とても魅力的な市長で、市長の嘆きや悩みまた本音などが垣間見られて大変好感を持ちました。

真庭市は人口 43000 人、面積が富士宮市より広い 828 平方キロメートルです。

市域の約 8 割が森林。日本有数の木材集散地。

何よりも驚いたのが、基金の総額が 300 億位ある事です。

真庭市の人口の推移に出生数があり、2025 年は 194 人とあり、少子化が著しいことも表に記載されていてわかりやすかったです。

真庭市のエネルギー自給率が 62%です。

電力需要をすべて地産の自然再生エネルギーで賄うこととして再生可能エネルギー自給率 100%を目指します。

自給圏の確立が日本と地域の永続的な発展につながる

中山間地域の制約と課題は不利なのか？

少子高齢化・地理的不利・経済衰退・・・

逆転の発想で

●少ないからこそできる個性に合わせたきめ細やかな教育

●知恵と経験のある人がたくさんいる

●豊かな自然・精神的安らぎ 自立性の高さ

●地上資源の宝庫・雇用・産業・観光事業等の創出を実現
行政による条件整備・サポート⇒真庭ライフスタイル

真庭市の脱炭素 SDG s に向けたあゆみ

2014 年 バイオマス産業都市に選定

バイオマス発電事業

有機廃棄物資源化事業

2015 年 バイオマス発電所稼働
生ごみ資源化事業開始
2018 年 S D G s 未来都市に選定
2019 年 地域循環共生圏プラットフォーム選定
2020 年 ゼロカーボンシティー宣言
2021 年 第 1 回脱炭素先行地域に選定

地域資源を生かした回る経済を確立する
木を使い切る真庭創出事業

- ✓ バイオマス発電所
売上約 17, 6 億円 燃料購入約 12 億円 発電能力 10, 000 キロワット
- ✓ 経済効果 市内バイオマス産業により付加価値額が約 52 億円増加
- ✓ 第 2 バイオマス発電所構想
未利用の資源である広葉樹林や雑木林や早生樹も含めて活用し、さらにもう一機木質バイオマス発電所を設立することで再生可能エネルギー由来の電力の割合を増やすことを目的とする。

公共施設における再生可能エネルギーによる経費節減効果

- ✓ 公共施設 5 施設にチップボイラー・ペレットボイラー導入
- ✓ エネルギーコストを年間 2100 万円削減
- ✓ CO²は年間 1000 トン削減
- ✓ 地域の木質資源を利用しているため年間 1200 万円を地域に還元

今後の展開として

「Jークレジット」の創出可能性について令和 6 年度より検討事業を開始。約 12, 000ha ある市有林の中から対象森林の選定と実施体制の整備を進める。

生ごみし尿等液肥化事業

「キッチンからバイオマスへ」

家庭の生ごみなどをメタン発酵させ液体肥料として再生、資源の地域内循環を目指す。

- ① 燃えるゴミを約 40%削減
- ② 年間約 800 トンの液体肥料として再生
ごみ処理のエネルギーコストの低減・脱炭素・低コスト農業の実現
バイオ液肥を濃縮しないケースと濃縮するケース
環境負荷軽減と化学肥料の使用削減につながる

焼却ごみの削減を図る資源循環システムづくり、エコカー・自転車を活用したエコで健康な交通網づくり、市民・事業者と協働したカーボンオフセットによる森づくり「COOL CHOICE 賢い選択の推進によるエシカルな行動ができる人づくりなど、ソフト・ハード両面で様々な脱炭素まちづくりを進めています。

素晴らしい町の取組に驚くばかりでした。

講義Ⅳ 微生物の力で燃やせるごみをエネルギーに再資源化

講師 エビス紙料株式会社代表取締役 見澤 直人氏

トンネルコンポストの特徴

- ① 燃やせるごみ（混合ごみ）がリサイクルできます
生ごみやプラスチック、紙などが混在しているごみは臭いや水分の関係上リサイクルが難しいとされてきました。トンネルコンポスト方式はこれらの混合ゴミを発酵・乾燥させることにより、リサイクルが可能な状態にすることができます。排出者の手間を省き、かつ再資源化を図ることができます。また、使用済み紙おむつのリサイクルにも適しています。
- ② 微生物を利用した合理的なリサイクルです。
バイオトンネルと呼ばれるコンクリートの密閉発酵槽では、発酵作用が最も活発になる好気的な環境をシステムが自動制御（温度・圧力・空気量等）し、効果的・確実な発酵による処理が行われます。また、微生物が発酵する際の熱と通気を利用して乾燥処理を行います。
- ③ MBT
欧州で開発されたごみ処理方法で、破砕機や選別機のような機械の微生物による発酵をうまく使って処理します。これから日本でも発展することが予想されている注目の処理方法です。
- ④ 固形燃料は石炭の代わりになります。
固形燃料原料はエビス紙料株式会社および株式会社パブリックで混合・合成が行われ固形燃料になります。固形燃料は有価物として取引され、製紙工場などで石炭の代わりとして使用されます。

環境について

- バイオフィルターで臭気を脱臭します
施設からの臭気を含んだ排気はすべてバイオフィルターを通過させます。バイオトンネルから発生する発酵に伴う臭気、工場屋内の作業に伴う臭気をバイオフィルターで常時吸引、脱臭します。これによりバイオトンネル内、工場屋内は常に負圧に保たれ、臭気が外に漏れません。
- 排水を出しません
場内の汚れた水はバイオトイレ内で発酵用として消費されます。したがって工場からは排水しません。
- 二酸化炭素の排出を抑制します
トンネルコンポスト方式は、発酵熱の利用や化石燃料の使用を抑制するので、二酸化炭素の排出量を削減することができます。
- 煙やダイオキシン類が発生しません
焼却方式とは異なるので、煙が発生したり、ダイオキシン類の発生の恐れもありません。

運用について

- 低コスト
複雑な設備等を要しないため、他のゴミ処理方式に比べてイニシャルコストが安価です。また、運転に必要な人員も少なく、ランニングコストも抑えることができます。
- 事故対応に優れている
トンネルコンポスト方式は駆動部が少ないことの特徴。バイオトンネル内は攪拌を行わないので、切り返しの装置はありません。

また、ファンやモーターについては予備品を在庫することにより素早い事故対応が可能です。これは自治体の一般廃棄物の受け入れを止めないために重要な要素です。

エビス紙料株式会社では約 42300 トンの廃棄物を受け入れ、そのうち約 42000 トンをリサイクルしています。

事業全体でのリサイクル率は 99、3%。

生産された RPF を石炭の代替として使用することで 13000 トン以上の二酸化炭素削減が可能です。

見澤氏はこども 6 人のお父さんとして、誠実で真面目な方ということが講義のいたるところでにじみ出ていました。

昼食会も私のテーブルでしたので私もいろいろ質問させて頂きました。

細かいことにも食事を中断してまでお話ししてくださいました。

何度も出てきたフレーズは「ごみはすべて資源」

日本初のリサイクル技術は本当に素晴らしい施設で富士宮市の清掃センターも建替えが視野に入ってきた今、参考にさせていただきたいと強く思いました。

講義Ⅴ SDG s の行政業務での活用

講師 慶応義塾大学大学院 政策メディア研究科特任講師 高木超氏

S はすげえー

D はでっけえー

G はゴール いわゆる、すごいでっかいゴールということ

世界中が共通して取り組む目標

達成期限は 2030 年

17 目標 169 ターゲット

2024 年の達成度ランキングで日本は 167 カ国中 18 位

課題は 5. 1 2. 1 3. 1 4. 1 5

達成済み 9

SDG s の理念 誰一人として取り残さない⇒「ペットボトルを使用するのはやめよう」エコだけど、SDG s は、ペットボトルを作る人も取り残さない

●SDG s を活用して、行政施策・事業を整理アップデートする

●SDG s の視点から日常業務を点検・改善する

SDG s のメガネをかけ、問い直すこと

SDG s 達成に必要なことは、多様な人が連携し、目標達成に向けて取り組む事

静岡県では浜松の取り組みが取り上げられていた。

私が疑問に思うこと

目標が壮大であいまいな点

SDG s と声を大にしているが、二酸化炭素の排出量は過去最大であり、SDG s を唱えていれば社会貢献している錯覚にとらわれていのではないかな。もう少し深く踏み込んでいかなければ誰一人どころか誰も救えなくなってしまうそう。真逆のことが起きてしま

っている気がしている。

講義Ⅵ 未来のこどもたちへ地球を引き継ぐために

講師 環境活動家 谷口 たかひさ氏

谷口氏は 1988 年生まれ、日本の大学在学中に留学費用のためインターネットビジネスで起業し、イギリスに留学。

卒業後、アフリカのギニアで学校設立に貢献、メガバンクメディアのコンサルタント、グローバル IT 企業の取締役を経験。プラスチック問題と時間とともに価値が減る地域通貨に取り組むため、ドイツへ移住し、起業。

2019 年、ドイツで気候危機の深刻さを目の当たりし、「みんなが知れば必ず変わる」をモットーに「地球を守ろう!」を立ち上げ、気候危機の発信や講演を開始。世界中から講演に呼ばれるようになり、4 年間で 1700 回以上の講演を達成、学校講演は 400 校以上。先生の著書 「シン・スタンダード」はアマゾン人気ランキング 1 位。私もすぐ購入しました。

講演会を拝聴したあとに質問コーナーがありましたが、全国から参加している議員からはほとんど質問がありませんでした。質問できないのです。ひれ伏すしかないそんな講演会でした。

地球に残された時間がないことも、気候危機の深刻なことも心に響きました。

毎日の小さな選択で未来が決まっています。

毎日の買い物や使うもの・身に着けるもの・毎日の小さな意識の変化が未来を大きく変えられます。一つ一つ考えて購入する習慣が大切だと思いました。

オーストラリアでは、異常に暑い日が続き、ユーカリの木は気温 40 度を超えると自然発火するので、火災が起きました。コアラの好きなユーカリです。

火災に関しては、森林破壊が「一分間にサッカーコート一枚分」で進んでいること。

●気候変動は「平和が奪われること」

それは、気候変動で食糧や資源が今と同じように供給できなくなった時に限られた資源や食料をめぐって奪い合いになる。

食糧を輸入に頼っている日本は、人口の 3 分の 2 である 7000 万人が食料を調達できなくなる。

奪い合いの争いが起きるということです。

●「無関心でも無関係ではられない」

谷口さんは政治に関心を持たないからという。

話は自己肯定感から教育まで多様な切り口で問いかけます。

自己肯定感が高い人が増えるとより良い未来に近づけると言っていました。

●私が気になった言葉は「沈黙は容認」

他の国は「NO」といえる。デモも頻繁に起きている。

谷口さんは人口の3, 5%の人が参加すれが、世の中が変わると言っていました。

その言葉に勇気を頂きました。

とにかく気候変動やいまこの世の中に起きている問題も他の誰かが何とかするだろうではなく、自分のできるところから少しでもやっていたいかなければと強く思いました。

そして、そのような問題意識を持つ人が3, 5%になれば、思いは形になるかもしれない。

環境問題もそうです。

まずは、谷口さんの「シン・スタンダード」を読んでみようと思う！

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	1,760 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	アマゾンジャパン合同会社
支払年月日	令和6 年 10 月 29 日
その他特記事項(参加者・人数等) シン・スタンダード 谷口たかひさ 1冊 1,760円	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

注文番号 の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2025年3月24日
注文日: 2024年10月29日
Amazon.co.jp 注文番号:
ご請求額: ¥1,760

超党派虹の会 様

2024年10月29日に発送済み

注文商品	価格
1点 シン・スタンダード, 谷口たかひさ	¥1,760
販売: アマゾンジャパン合同会社	

コンディション: 新品

お届け先住所:

近藤千鶴

静岡県 富士宮市

配送方法:

お急ぎ便

支払い情報

支払い方法:

商品の小計: ¥1,760

配送料・手数料: ¥0

請求先住所:

近藤千鶴

静岡県 富士宮市

注文合計: ¥1,760

ご請求額: ¥1,760

MasterCard(下4けたが8143): 2024年10月29日: ¥1,760

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

トップへ戻る

日本語

日本

ヘルプ・サポート

利用規約 | プライバシー規約 | パーソナライズド広告規約 | 各種規約 | 特定商取引法に基づく表示
© 1996-2025, Amazon.com, Inc. またはその関連会社

研 修 参 加 申 請 書

		予算項目		会 議 費	
起 案	2024 年 10 月 1 日		決 裁	2024 年 10 月 1 日	
所 属				備 考	
1	超党派虹の会		渡辺佳正		
2					
3					
4					
5					
研修市町村		研 修 先		研 修 名	
愛知県名古屋市 熱田区		名古屋国際会議場		第37回日本高齢者大会 in あ いち	
研 修 目 的					
高齢者の暮らしを取り巻く様々な課題について学習し、今後の議会活動に生かして いくため					
宿 泊 地		出発年月日		帰省年月日	
愛知県名古屋市 熱田区		2024 年 11 月 22 日		2024 年 11 月 23 日	

政 務 活 動 費 用

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	5,000円
内 容	「日本高齢者大会 in あいち」に参加
目 的	高齢者の暮らしを取り巻く様々な課題について学習して、今後の議会活動に生かしていくため
支 出 先	全日本年金者組合静岡県本部
支払年月日	2024年11月22日
その他特記事項（参加者・人数等） 渡辺佳正	

— 領収書等貼付欄 —

超党派の会
渡辺 佳正 様 2024年11月22日

★ 4,500.00

但 日本高齢者大会 in あいち への参加費
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

全日本年金者組合

登録番号 50099024

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	37,000円
内 容	「日本高齢者大会 in あいち」に参加するための旅費
目 的	高齢者の暮らしを取り巻く様々な課題について 学習して、今後の議会活動に生かしていくため
支 出 先	渡辺佳正
支払年月日	2024年11月21日
その他特記事項（参加者・人数等）	

— 領収書等貼付欄 —

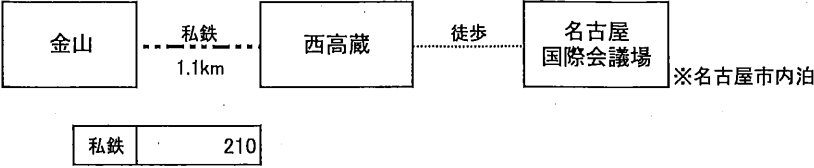
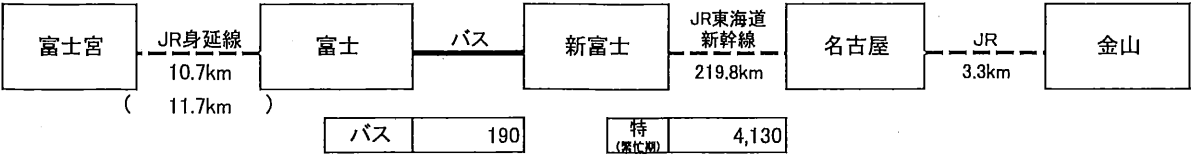
別紙のとおり

旅費計算書(政務活動費)

超党派虹の会
(渡辺議員)

● 1 日 目 : 令和 6 年 11 月 22 日 (金) 繁忙期

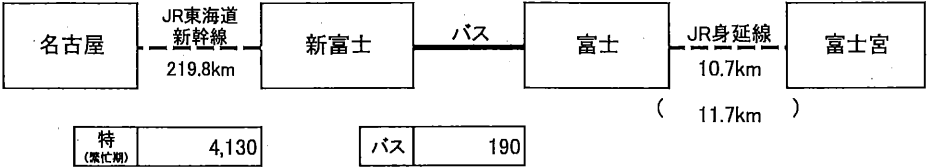
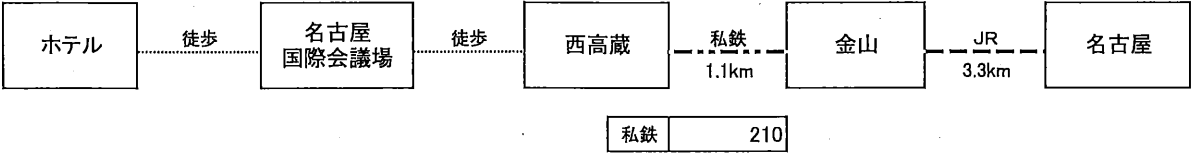
【研修】日本高齢者大会inあいち(愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号)



JR運賃営業キロ	
233.8	km
4,070	円

● 1 日 目 : 令和 6 年 11 月 23 日 (土) 繁忙期

【研修】日本高齢者大会inあいち(愛知県名古屋市熱田区熱田西町1番1号)



JR運賃営業キロ	
233.8	km
4,070	円

鉄 道 賃	J R	8,140 円	運賃 A	17,200 円 × 1 人 = 17,200 円		
	私 鉄	420 円		日 当	1,650 円 × 2 日 × 1 人 = 3,300 円	
特 急 料 金	通 常	円				
	閑 散	円				
	繁 忙	8,260 円				
航空運賃	料 金	円	宿泊料	16,500 円 × 1 夜 × 1 人 = 16,500 円		
船 賃		円				
車 賃 (バ ス)		380 円	旅費合計	37,000 円/人 × 1 人 = 37,000 円		
1人往復運賃合計 A		17,200 円				

研修報告書

会 派 名 超党派虹の会	
研 修 年 月 日	2024年11月22日～11月23日
研 修 名	第37回日本高齢者大会 in あいち
参 加 者	渡辺佳正
研修内容 (概要、特色、 効果、課題等)	1日目 午後から第3学習講座「高齢者の就労と労働問題、増える高齢労働者、課題を探る」に参加。 最初に明治学院大学名誉教授の河合克義氏による記念講演を拝聴。同教授は、高齢者の就労に関する全国実態調査に基づいて報告。高齢者が仕事をしている理由では、「経済的理由」が男性94.3%、女性34.4%と、圧倒的多くの男性は年金だけでは生活できない、働かなければ生きていけないという厳しい現実を報告した。 このような状況で働いている高齢者は、親族との会食をまったくしていない世帯が36.2%、泊りがけの旅行については、「ほとんどしない」が66.8%、旅行しない理由は「金銭的に余裕がないから」が38.5%を占める。 このように、経済的理由から働かざるを得ない実態、親族や友人とのつながりが希薄になり、旅行にもほとんど行けない現実が見えてくる。 この講演を聞いて、切ない気持ちになるが、物価高騰に年金引き上げが追いついていない状況で、人手不足の事業所にとっては高齢者でも元気な人は働いてもらいたいというニーズが高まり、65歳以降も仕事をする高齢者は今後さらに増加することは間違いない。そこで問題になるのが、賃金や労災など高齢者の就労環境であろう。劣悪な労働環境でも不満を言うと辞めさせられるという不安で、健康を害してでも働き続けざるをえない高齢者が増えることも考えられる。 行政はこのような高齢者の就労実態をほとんどまったくと言っていいほど把握していないと思われる。しかし、今日の超高齢社会では高齢者が働き手としても大きな戦力であり、高齢者の生活を支えるとともに、健康・生きがい増進にもつながる就労問題は、行政が正面から取り組むべき重要な問題である。 まずは、経済的に働かざるを得ない高齢者の実態調査から始めて、その就労環境についても事業所やハローワーク、シルバー人材

センターなどとの情報交換に努め、高齢者が安心して働くことができる環境づくりも必要である。また、高齢者が継続できて、生きがいにもつながる仕事の情報を多くの高齢者に提供できる仕組みを充実させることも重要だと考える。

2日目は全体会の記念講演では、長年、障がい者運動に取り組んできた NPO 法人障害者協議会代表 きょうされん専務理事の藤井克徳氏が障がい者運動と高齢者運動の両方で求められる当事者意識と人権意識について語った。

氏によると、障がい者政策でも高齢者政策でも当事者抜きで決められ、当事者が本当に望んでいる制度になっていないと訴えていた。確かに、介護保険制度や後期高齢者医療制度を見ると、高齢者の願いから出発したものではなく、国の財政事情から出発して、それを民間事業者との契約、そして国民みんなで支える保険制度という仕組みになっている。

「私たち抜きに私たちのことを決めないで」という考え方が人権意識につながり、国連で障がい者権利条約や子ども権利条約が制定されてきた。この流れを高齢者運動につなげて、まずは自治体から「高齢者の権利を守る」という概念を基本に様々な高齢者施策に取り組むことが大切だと考える。

日本高齢者人権宣言では、以下の23の人権が掲げられている。

1. 差別を受けやすい高齢者への平等な権利保障
2. いのちと尊厳が守られる権利
3. 自律的で独立した生活をおくる権利
4. 社会に積極的かつ全面的に参加する権利
5. 身体的自由と安全、暴力・虐待を受けない権利
6. 残虐かつ非人道的な取り扱いをされない権利
7. 自由に考え、信仰する権利
8. 表現の自由、言論の自由、情報にアクセスする権利
9. プライバシーと名誉が守られる権利
10. 十分な生活水準への権利、社会保障の権利
11. 最高水準の健康を享受する権利
12. 長期ケアを受ける権利・ケアする人の権利
13. 労働権
14. 学習する権利
15. 文化および科学の成果を享受する権利
16. レクリエーション、余暇、スポーツの権利
17. 居住の権利、健康的な環境についての権利
18. 交通権、移動の自由、建物などへのアクセス権
19. 財産権
20. 政治参加、行政参加、司法参加、社会参加の権利
21. 団体を結成し、活動する権利
22. 災害や緊急事態における権利
23. 審査請求や裁判を受ける権利

これらの権利について学び語り、豊かに発展させて、人権の旗を掲げることが、すべての人が長寿を喜び合える真の長寿社会建設につながることを、この講演で学んだ。

勉強会報告書

		会 派 名	超党派虹の会
勉強会 年 月 日	令和 6 年 12 月 10 日		
場 所	富士宮市大富士交流センター第 3 会議室		
参 加 者	近藤千鶴・渡辺佳正		
勉強会内容 (概要、特色、 効果、課題等)	講師 津田塾大 総合政策学部 教授 伊藤由希子氏 「地域医療の現状と自治体病院の在り方」 1. 勉強会の目的と背景: ○ 地域医療の現状と課題を理解し、改善策を探ることが目的。 ○ 富士市と富士宮市の医療環境の違い、両市の市長間の協力の欠如が背景。 2. 伊藤由希子先生の講演内容: ○ 富士市の新病院建設計画についての説明。 ○ 地域医療の在り方についての学術的見解。 ○ 地域間での連携の重要性についての強調。 3. 提案と対策: ○ 両市間での医療連携を強化するための提案。 ○ 地域住民への情報提供と意見聴取の方法。 ○ 富士宮市の市立病院建設計画を加速するための具体的なスタンス 4. 富士宮市の意見の反映: ○ 富士市の中央病院の基本計画に富士宮市の意見を反映させる重要性。 ○ 意見を集める期限が来年の 3 月であるため、それまでの準備と計画。 ○ 環境厚生委員会でこの問題を取り上げ、富士宮市		

の立場と必要性を明確に伝える計画。

(雑感)

富士市と富士宮市の双方の関係性を良い方向に向けていくことがまずもっての課題です。

富士宮市立病院は医療圏が広くて山梨県まであります。

地域のとってはなくてはならない病院です。

富士市と富士宮市がともに分担しながら、共にすみわけしながらやっていくしかないと思います。

ただ、医局が違い、富士市は慈恵医大で富士宮市は浜松医大です。

医局の問題も大きいです。

少子化で出生数も減り、両市での産科の輪番制なども考えられると思います。

共に協力してやっていくしかない医療圏だということです。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	68 円
内 容	勉強会会場使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 11 月 22 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:近藤千鶴、稲葉晃司、渡辺佳正 ただし稲葉晃司氏については自費とする	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

令和 6 年 11 月 25 日

住所 富士宮市黒田259-1
団体名 富士宮市議会地域医療勉強会
氏名又は代表者名 中野健太郎
(連絡責任者)

富士宮市大富士交流センターの使用について、下記のとおり許可します。

使用日時	令和 6 年 12 月 10 日 (火 曜日) 9 時 00 分 から 令和 6 年 12 月 10 日 (火 曜日) 12 時 00 分 まで	☒ 下記のとおり	
行事名 ・ 内容	研修会	入場予定者数	15 人
		入場方法	無料・有料 商業宣伝・その他
会場責任者	〒 住所 氏名 同上 (電話番号)	入場 料金	0 円
	備考 (附属設備使用)	1. 音響装置 6. ピアノ 2. プロジェクター 7. PA 3. スクリーン ⑧ Wi-Fi 4. 演台 9. その他 5. 舞台 ()	利用料 (基・営・市外・入場料) 550 円

※許可番号	
※許可年月日	6.11.22

	使用日時(曜)・区分														
	12月 10日 (火)			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()			月 日 ()		
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間
集会室1															
集会室2															
会議室1															
会議室2															
会議室3	○														
会議室4															
和室															
調理室															

許可条件 富士宮市大富士交流センター条例、同施行規則及び係員の指示を守ること。

(注) 使用の取消と既納利用料の還付について

取消の場合は、使用日の8日前まで全額還付、7日前から4日前まで7割還付、3日前のみ5割還付
2日前から当日は還付がありません。

※上記の日時までに窓口にて取消手続きを行わないと、既納利用料の還付はできません。

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,750 円
内 容	講師謝礼
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:近藤千鶴、稲葉晃司、渡辺佳正 ただし稲葉晃司氏については自費とする	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師謝礼
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 14,000円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の講師料として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒 [REDACTED]
氏名

伊藤由希子



支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	1,422 円
内 容	講師交通費
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	伊藤 由希子
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:近藤千鶴、稲葉晃司、渡辺佳正 ただし稲葉晃司氏については自費とする	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別 紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	講師交通費
領収書等貼付欄			

領 収 書

地域医療勉強会 様

金 11,380円也

ただし、地域医療勉強会の議員研修会の交通費として、
上記のとおり領収しました。

令和6年12月10日

住所 〒

氏名

伊藤 由希子



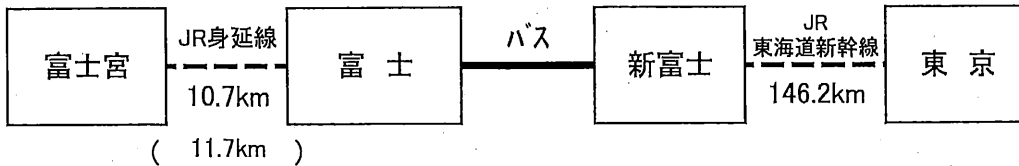
旅費計算書(政務活動費)

会議費

研修: 地域医療勉強会

会場: 大富士交流センター 第3会議室(富士宮市万野原新田4136-6)

● 令和6年12月10日(火) (往復) ※閑散期



バス	190
----	-----

特 閑散期	2,860
----------	-------

JR運賃営業キロ	
156.9	Km
2,640	円
バス	190 円

鉄 道 賃	J R	5,280 円	運賃 A	11,380 円 × 1 人 = 11,380 円		
	私 鉄	円	日 当	円× 日× 人= 0 円		
特 急 料 金	通 常	円				
	閑 散	5,720 円				
	繁 忙	円				
航 空 運 賃	料 金	円				
		円				
車 賃 (バ ス)		380 円				
		円				
1人往復運賃合計 A		11,380 円	旅費合計	11,380 円/人 × 1 人= 11,380 円		

※旅費計算表に基づく

支 出 伝 票

項 目	会議費
金 額	136 円
内 容	勉強会プロジェクター使用料
目 的	地域医療についての調査研究の為
支 出 先	公益財団法人 富士宮振興公社
支払年月日	6 年 12 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 参加者:近藤千鶴、稲葉晃司、渡辺佳正 ただし稲葉晃司氏については自費とする	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

NO.

別 紙

領収書等貼付用紙

項 目	会議費	内 容	会場プロジェクター使用料
領収書等貼付欄			

領収書

発行日 令和6年12月10日

地域医療勉強会 様

¥ 1,100

但し、令和6年12月10日 利用の備品代として
上記正に領収いたしました。



内訳

税率	税抜金額	1,000	円
10%	消費税額	100	円
税率	税抜金額	0	
8%	消費税額	0	

富士宮市

大富士交流センター 指定管理者
(公財) 富士宮市振興公社
TEL 0544-28-0024
登録番号：T 1080105003625

No. [REDACTED]

令和 6 年 12 月 4 日

津田塾大学 総合政策学部
教授 伊藤 由希子 様

地域医療勉強会
幹事 望月 芳将
中野 健太郎

地域医療勉強会の講師について(依頼)

師走の候、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、下記議題をテーマに地域医療勉強会を開催することとなりました。
つきましては、御多用の折誠に恐縮ですが、勉強会にて講師を依頼したく、よろ
しくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和 6 年 12 月 10 日(火)午前 10 時から 11 時 45 分まで
- 2 場 所 大富士交流センター第 3 会議室
(富士宮市万野原新田 4136-6)
- 3 対象者 富士宮市議会議員 14 名
- 4 勉強会の議題
地域医療の現状、自治体病院の在り方について等
- 5 謝礼等 謝 礼 14,000 円
交通費 11,380 円

以上

問い合わせ先

富士宮市議会議員 中野 健太郎

電話(0544)27-6035 携帯

e-mail

12月10日(火)地域医療勉強会参加者名簿

No.	出欠席	会派	氏名
1	✓	公明会	佐野 寿夫
2	✓	公明会	山藤 陽子
3	✓	明和	辻村 岳瑠
4	✓	明和	佐野 和也
5	✓	明和	芦澤 秀典
6	✓	明和	平下 尚己
7	✓	明和	中野 健太郎
8	✓	富岳会	佐野 和彦
9	✓	富岳会	臼井 由紀子
10	✓	至誠	鈴木 弘
11	✓	超党派虹の会	渡辺 佳正
12	✓	超党派虹の会	稲葉 晃司
13	✓	超党派虹の会	近藤 千鶴
14	✓	無会派	望月 芳将
15	✓	無会派	仲亀 恭平
16	✓	無会派	岩村 恵美
17			
18			
参加者合計		16	名

— 領收書等貼付欄 —

No. _____

金額				¥	4	0	7	0	
----	--	--	--	---	---	---	---	---	--

2024年12月18日 上記正に領収いたしました

收入印紙

GR266324

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	1,100 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	アマゾンジャパン合同会社
支払年月日	令和7 年 3 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 全予測2020年代の日本 図解・未来の年表 1冊 1,100円	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	990 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	アマゾンジャパン合同会社
支払年月日	令和7 年 3 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 未来の年表人口減少日本でこれから起きること 1冊 990円	

— 領収書等貼付欄 —

別紙のとおり

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	990 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	アマゾンジャパン合同会社
支払年月日	令和7 年 3 月 10 日
その他特記事項(参加者・人数等) 未来の年表2人口減少日本であなたに起きること 1冊 990円	

ー 領収書等貼付欄 ー

別紙のとおり

注文番号 の領収書
このページを印刷してご利用ください。

発行日: 2025年3月24日
注文日: 2025年3月10日
Amazon.co.jp 注文番号:
ご請求額: ¥ 3,080

超党派虹の会 様

2025年3月10日に発送済み

注文商品	価格
1点 全予測 2020年代の日本 図解・未来の年表, 河合 雅司 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 1,100
コンディション: 新品	
1点 未来の年表 人口減少日本でこれから起きること (講談社現代新書 243f), 河合 雅司 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 990
コンディション: 新品	
1点 未来の年表2 人口減少日本であなたに起きること (講談社現代新書 247f), 河合 雅司 販売: アマゾンジャパン合同会社	¥ 990
コンディション: 新品	
お届け先住所: 近藤千鶴 静岡県 富士宮市	
配送方法: お急ぎ便	

支払い情報

支払い方法:	商品の小計:	¥ 3,080
	配送料・手数料:	¥ 0
請求先住所:	注文合計:	¥ 3,080
近藤千鶴	ご請求額:	¥ 3,080
静岡県 富士宮市		
	: 2025年3月10日:	¥ 3,080

注文の状況を確認するには、注文内容をご覧ください。

利用規約 | プライバシー規約 ©1996-2020, Amazon.com, Inc. and its affiliates

[トップへ戻る](#)

日本語

日本

[ヘルプ・サポート](#)

利用規約 | プライバシー規約 | パーソナライズド広告規約 | 各種規約 | 特定商取引法に基づく表示
© 1996-2025, Amazon.com, Inc. またはその関連会社

支 出 伝 票

項 目	資料購入費
金 額	60,000 円
内 容	図書購入費
目 的	調査研究に必要なため
支 出 先	第一法規株式会社
支払年月日	令和7年3月24日
その他特記事項 (参加者・人数等) 自治体議員 活動総覧 2024年4月～2025年3月分	

— 領収書等貼付欄 —

通常払込料金 加入者負担		振替払込請求書 兼受領証		払込金受領証 (金融機関・コンビニエンスストア用)	
印 記 号 加 入 者 名	〒	振 込 先	受取人 第一法規株式会社	ゆ う ち よ 銀 行 ま た は 郵 便 局 で の お 支 払 の 場 合 は 、 左 側 の 2 票 だ け を お 出 し く だ さ い。	払込人 近藤 千鶴 第一法規株式会社 様
第 一 法 規 株 式 有 限 公 司	千 百 十 万 千 百 十 円	金 額	6 0 0 0 0	請求金額 円	60,000
振 込 先	近 藤 千 鶴 様	お 客 様 番 号		受領印	
ご 依 頼 入 住 所 氏 名	近藤 千鶴 様	収入印紙 (コンビニエンス ストア等取納用)		印	
料 金	07-03-24	現金扱			
編 号	現 金 扱				
タ					

この受領証は、大切に保管してください。振込先金融機関用 (CVS等店舗控)

(お客様控)